

第2回太田市景観賞

表彰式・景観講演会

自然、まち、歴史・文化の調和した愛着と誇りのもてる景観をめざして

日時：平成24年12月12日（水）午後1時30分～

会場：太田市社会教育総合センター レクリエーション室

本市は、平成19年9月1日に景観法に基づく景観行政団体となり、太田市景観計画や太田市景観条例、太田市屋外広告物条例のもと、市の良好な景観づくりを推進しています。

そこで、景観の保全・形成に対する市民意識の向上を図るため、市の景観づくりに大きく貢献した市民、事業者及び団体等を「太田市景観賞」として表彰しています。

第2回目の本年度は、全部で11件の応募をいただきました。応募された皆様に敬意を表し、感謝申し上げます。

美しい街並み形成や地域の各種景観活動は、まちづくりの目標です。建物と周囲の自然が織りなす景観、地域活動による美しい街並みの維持は大切な資産であり、地域コミュニティの一体化、活性化に寄与するものです。大賞の景観づくり活動はもとより、惜しくも入賞を逸したものの多くにもその配慮が感じられ、それぞれの地域の景観形成に貢献してくれるものと期待しています。

最後になりましたが、太田市景観賞の実施にあたりご協力くださいました多くの市民の皆様にご感謝申し上げます、御礼のあいさついたします。

太田市長 **清水聖義**



審査

太田市景観審議会表彰等評価部会

部会長：渡邊美樹 副部会長：若林宏宗

部会員：柳澤美樹 小林則子 小林良男 大河原葆 山田昌弘

大賞「歴史公園清掃奉仕会」世良田町
【景観づくり活動 推薦者：篠原貴さん】



賞「株式会社石井設計」由良町
【設計 太田市立大隅俊平美術館】



賞「伏島邸」藪塚町
【建築物 推薦者：田島弘之さん】



講評

太田市景観審議会表彰等評価部会 部会長 渡邊 美樹

第2回太田市景観賞には、全部で11件のご応募をいただきました。内訳は、景観づくり活動4件、建築物4件、屋外広告物1件、建築物の設計2件で、これらすべての案件について、応募書類にもとづく現地審査を行いました。景観づくり活動については、活動の背景と経緯、内容、継続期間を確認した後、現地を見たところ、どの案件についても活動の効果がみられ、活動されている方々の地道なご苦労と熱意が伝わって来る、素晴らしいものでした。今後も景観づくり活動を継続される事を心より願っております。建築物及び設計に関しては、資料確認の後、周囲の環境との調和、景観形成への配慮などについて、現地で審査いたしました。

新しい建築については将来、継続して景観との調和が保たれた折りに、また古い建物外観や家並みの維持、景色や木立との調和など、より身近にある良好な景観についての応募・推薦が、今後も数多くあることを期待しています。屋外広告物の応募案については、環境への配慮がなされている点について高い評価がありました。環境に配慮した屋外広告物の提案、実践は地域の景観形成に寄与するものであり、今後も数多くの取り組みを期待しております。

受賞者の選考については、部会員7名が全応募案件について採点した結果を集計し、上位3案件の中から、さらに審議によって大賞1点、賞2点を決定しました。大賞の歴史公園清掃奉仕会は、30年間にわたる絶え間ない歴史公園の景観づくり活動の重みが評価され、活動のさらなる拡大・継承を期待しての高得点となりました。続いて、賞の株式会社石井設計は、美術館の建設自体は公共事業ではありませんが、人間国宝大隅俊平刀匠の功績を後世に伝えるため、市に寄贈された敷地、母屋、仕事場などの現状を残しつつ、それらとの調和に配慮した展示室を増築するなど、敷地全体がまとまりある景観を形成している点が評価されました。同じく賞の伏島邸は、古来の養蚕住宅の外観の特徴を維持しつつ改修を行ったこと、長屋門や庭園などととも、周囲の景観との調和が図られており、地域の歴史的な特徴がうかがえることなどが評価されました。

第2回太田市景観賞 表彰式・景観講演会 プログラム

■13時30分 表彰式

挨拶：主催者挨拶 太田市長 清水 聖義
来賓挨拶 太田市議会議員 永田 洋治
表彰：大賞「歴史公園清掃奉仕会」
賞「株式会社石井設計」
賞「伏島邸」

講評：太田市景観審議会表彰等評価部会 部会長 渡邊 美樹

■14時00分 講演会

演題：「景観形成と色彩の役割～景観の中の屋外広告物の意味から～」

講師：松井 英明（まつい ひであき）氏

松井 英明 氏 紹介

現職名等

東京造形大学非常勤講師
公共の色彩を考える会 副会長
色彩教育研究会
栃木県景観審議会委員
アジア民族造形学会 理事

専門分野

色彩計画
色彩教育

略歴

1951年神奈川県生まれ。武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科卒業。
1974年から2008年(財)日本色彩研究所に勤務、色彩設計、色彩計画を担当、環境色彩計画の主な事例としては千葉マリスタジアム、横浜みなとみらい21色彩基本計画など。
環境色彩の専門的立場から川崎市屋外広告物審議会会長、千葉市景観アドバイザー等を歴任、現在の所属職名等は上記のとおり。



主な著書

「色彩ワンポイント」第6巻 「これからの色彩計画」第7巻 「環境と色彩」 日本規格協会
「公共の色彩を考える（増補改訂版）」（共著） 青娥書房
「まちの色彩作法 一提言集一」（共著） 都市文化社
「色彩設計」新版「建築設計資料集成」日本建築学会（共著） 丸善
「公共の色彩を考える 一景観まちづくりのヒント一」（共著） 青娥書房
「美しい色のある街」色を楽しむカラーガイド 公共の色彩を考える会編（共著） 青娥書房
「色のある生活」色を楽しむカラーガイド 公共の色彩を考える会編（共著） 青娥書房